



I 第36週の発生動向 (2017/9/4~2017/9/10)

1. 手足口病については、**県内全ての保健所管内で警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が前週の8.07から5.45に減少しましたが、依然として報告数が過去5年間の平均より多い状態が続いていますので引き続き注意が必要です。
2. 水痘については、**五所川原保健所管内で注意報**が解除されました。
3. **RSウイルス感染症**については、県全体の定点当たり報告数は第33週以降増加が続いており、過去5年間の平均と比較してかなり多くなっています。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
4. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はA型2人でした。

II 第36週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ					2	0.13							2	0.03	0
小児科	RSウイルス感染症	14	1.75	18	2.00	19	1.90	22	4.40	13	2.17	1	0.25	87	2.07	3
	咽頭結膜熱	1	0.13	3	0.33									4	0.10	1
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	5	0.63	6	0.67	10	1.00	4	0.80					25	0.60	2
	感染性胃腸炎	13	1.63	7	0.78	23	2.30	18	3.60	7	1.17	28	7.00	96	2.29	-20
	水痘					1	0.10							1	0.02	-28
	手足口病	44	5.50	35	3.89	36	3.60	56	11.20	29	4.83	29	7.25	229	5.45	-110
	伝染性紅斑															-4
	突発性発しん	7	0.88	3	0.33	5	0.50	1	0.20	1	0.17	1	0.25	18	0.43	0
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	2	0.25	4	0.44	6	0.60	15	3.00	2	0.33	10	2.50	39	0.93	-41
流行性耳下腺炎					14	1.40			7	1.17	3	0.75	24	0.57	-12	
眼科	急性出血性結膜炎	1	0.50											1	0.09	1
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33									2	0.18	-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎								1	1.00	2	2.00	3	0.50	-1	
	無菌性髄膜炎															-1

は警報、 は注意報。「空欄」：患者報告無し。

感染症の窓

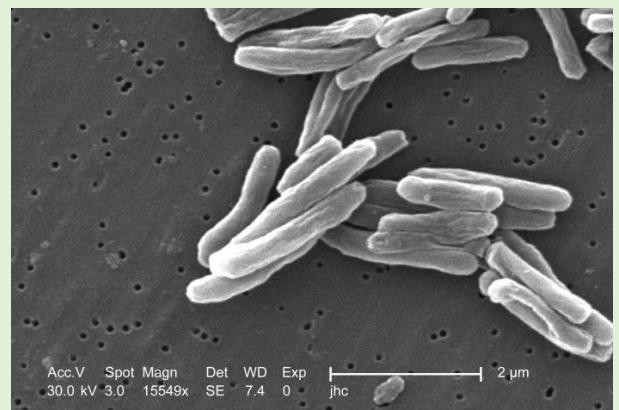
結核 (二類全数把握対象疾患)

9月24~30日は結核予防週間です。結核は、きちんと薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気ではなく、今でも**1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としており、日本における重大な感染症の一つ**です。2016年には、全国で24,662人、青森県で299人の結核発生届(患者、無症状病原体保有者、疑似症患者)が出されました。

結核は、肺結核患者のせきやくしゃみなどによって、空気中に飛び散った結核菌(図)を吸い込むことにより感染(空気感染)します。長引くせきやたんなどの症状があるときは、医療機関を受診しましょう。他の人への感染を防ぐためにも、早期発見、早期治療が重要です。

特に、**抵抗力の弱い赤ちゃんは結核に感染すると重症になりやすい**ため、**注意が必要です**。予防のためには、BCG接種が有効です。市町村からの案内に従って、遅くとも1歳(標準的な接種時期は生後5か月~8か月の期間)までにBCG接種を受けましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [結核とBCGワクチンQ&A\(厚生労働省HP\)](#)



図：結核菌(*Mycobacterium tuberculosis*)の電子顕微鏡写真

出典：CDCアメリカ疾病予防管理センター

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：三戸地方1人、八戸市1人、むつ1人（2017年計:205人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：三戸地方1人（2017年計:23人）
- ・デング熱（四類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2017年計:1人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2017年計:52人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

ヘルパンギーナ患者（鼻汁、咽頭ぬぐい液、8/22～8/23）・・・ヒトライノウイルス A：むつ1人、コクサッキーウイルス A10型：むつ1人
 下気道炎患者（鼻汁、8/28）・・・hRS ウイルス A：八戸市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第33週～2017年第36週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
33	H29.8.14 ~ H29.8.20	腸管出血性大腸菌 感染症1人		梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	梅毒1人
34	H29.8.21 ~ H29.8.27			アメーバ赤痢1人	梅毒1人		
35	H29.8.28 ~ H29.9.3			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			
36	H29.9.4 ~ H29.9.10		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 デング熱1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第33週～2017年第36週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
33	H29.8.14 ~ H29.8.20	1		1	2		
34	H29.8.21 ~ H29.8.27	1	2				
35	H29.8.28 ~ H29.9.3		3			1	
36	H29.9.4 ~ H29.9.10			2			1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第35週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	15041	4	101	2568	25	11	230	198	19	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	3	1	2	72	2	2	105	157	190	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	37	14	1	1094	16	715	197	1061	491

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	8	136	383	930	42	263	19	2301	206	3728

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	88	83	56	63	176	16

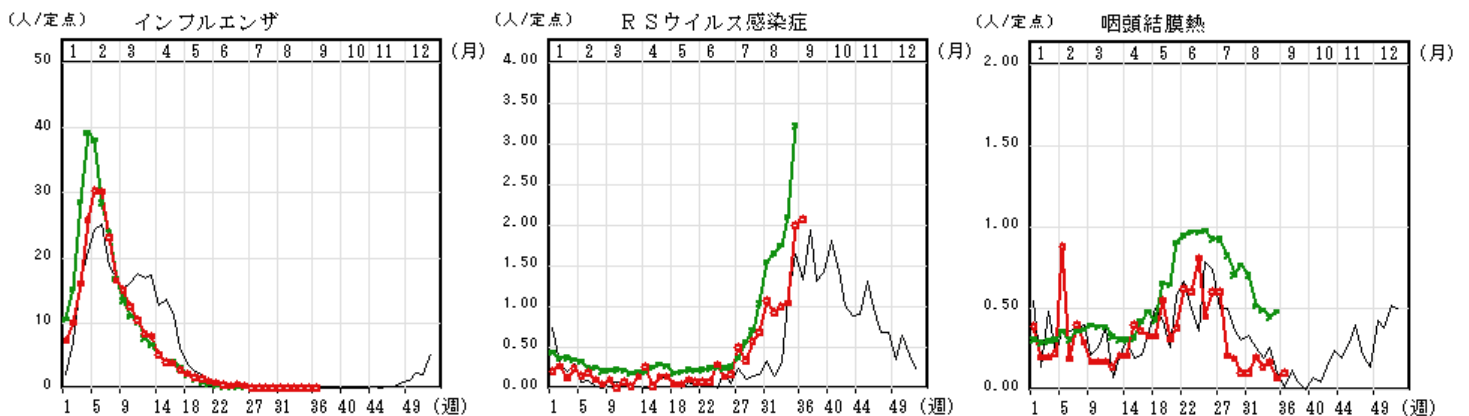
青森県（2017年第36週までの累計）

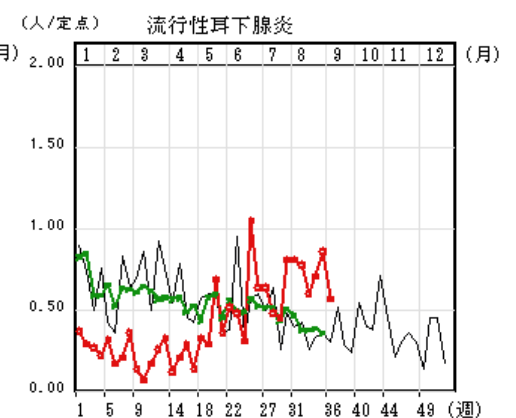
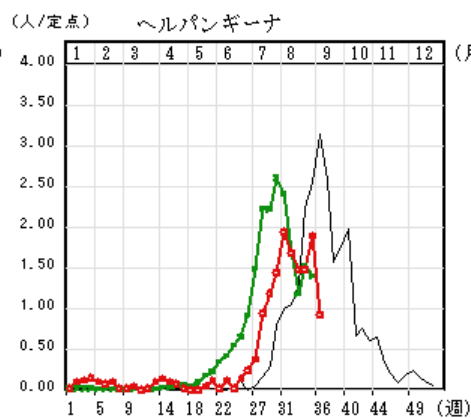
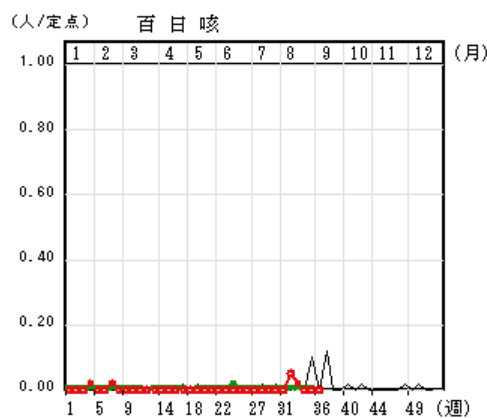
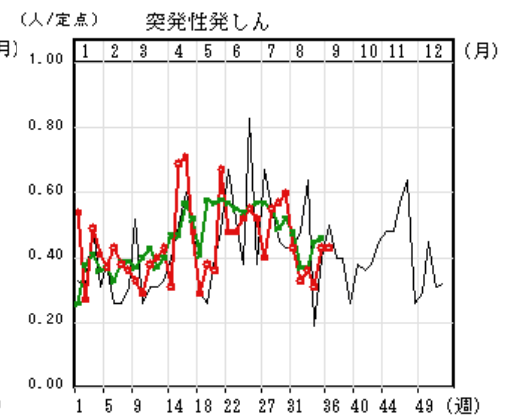
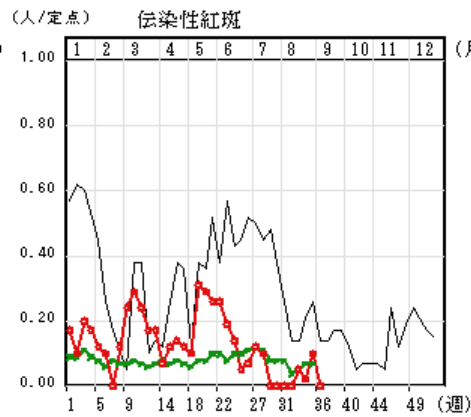
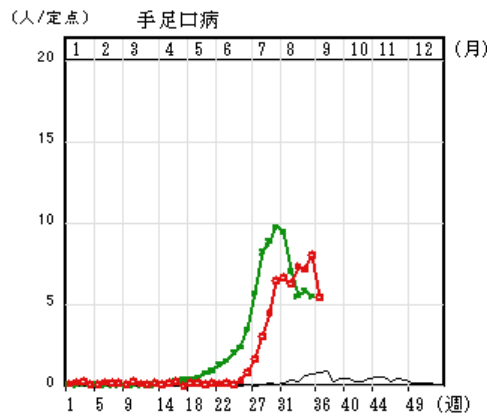
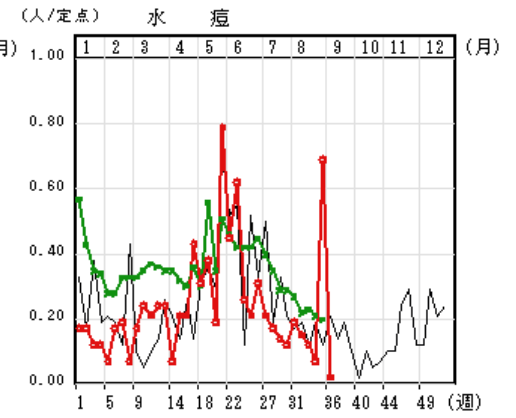
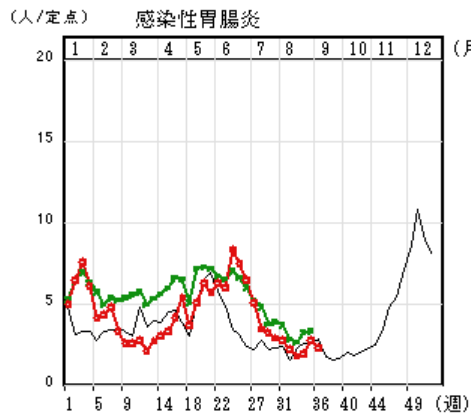
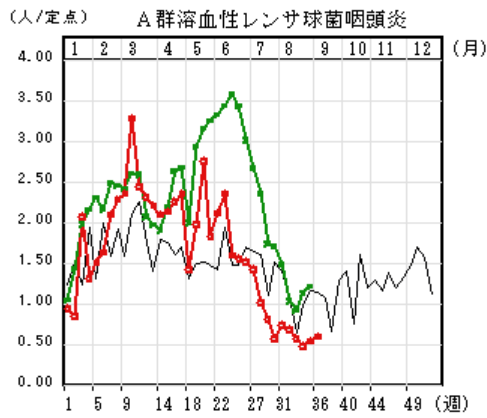
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	205	23	6	2	10	1	7	4	13	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	2	5	1	8	1	52

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第36週、ただし全国は前週）

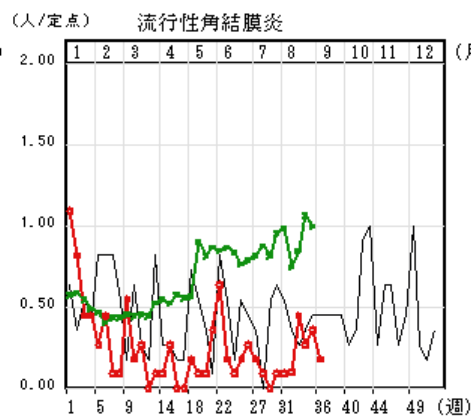
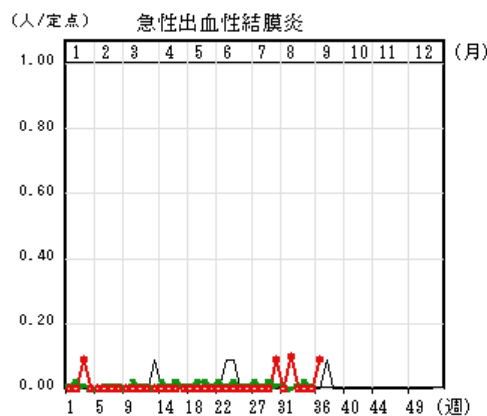
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





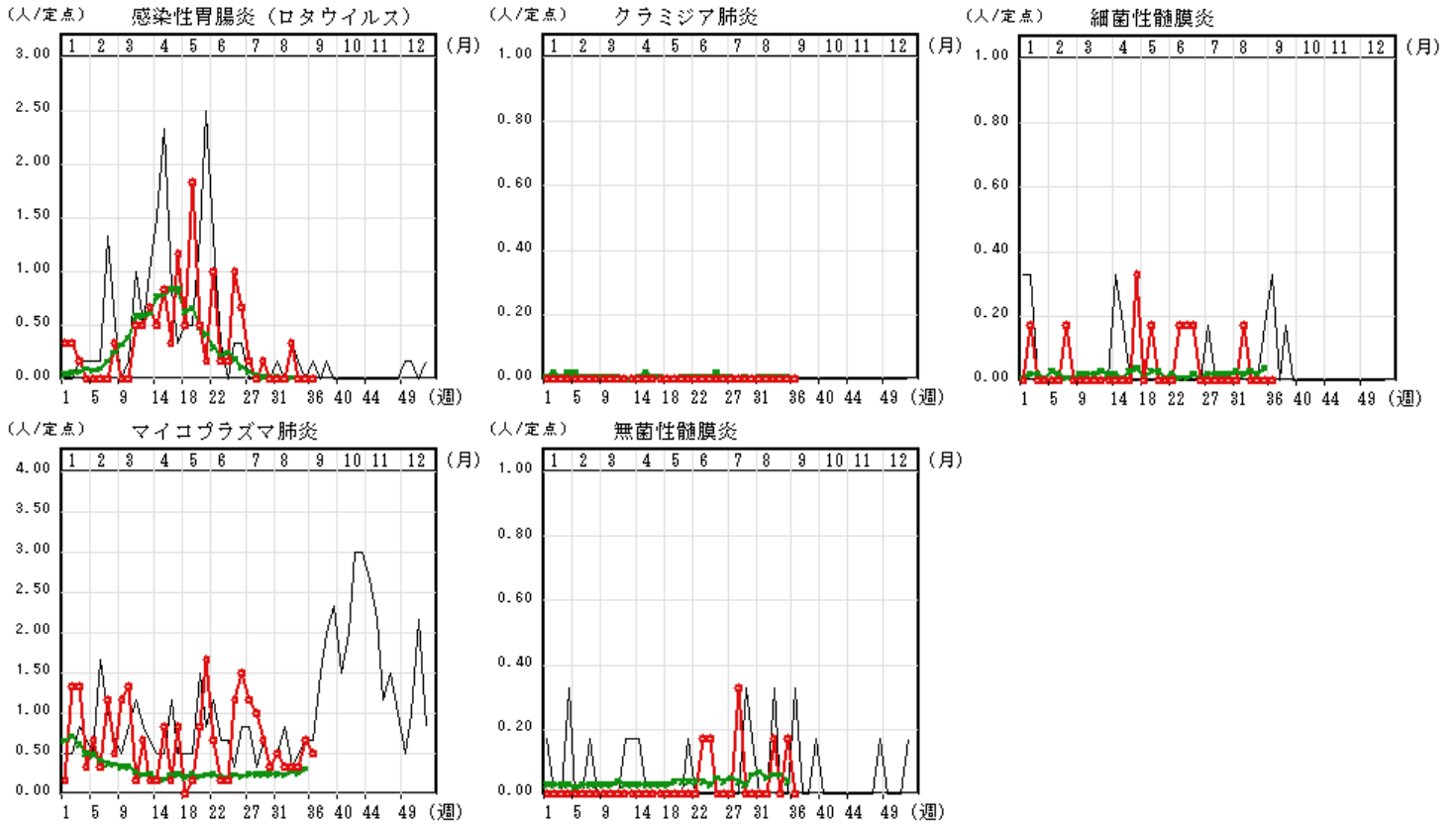
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第36週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第36週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第36週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)										計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-17週	5月 18-21週	6月 22-25週	7月 26-30週	8月 31-34週	9月 35週 36週		
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	0	0	212